

2024.04.14. 聖書預言・アップデート

聖書預言が苦い感情を引き起こすとき

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。お父様、主よ、昨日罪のなかった者は誰もいません。そして今朝、目を覚ますと、あなた憐れみは朝ごとに新しく新鮮です。この時間、私たちとともにいてくださいますか？ 主よ、私たちはあなたに心から感謝します。賛美と礼拝に集う機会があるのですから。この時間を祝福ください。主よ、私たちに語ってください。私たちにあって聞くのが辛く、あるいは私たちが執着しているようなすべての領域において、主よ、私たちに触れてくださいますように。ですから、あなたの御言葉で私たちに語りかけてください。この共に過ごす時間を感謝します。今から、勇気をもって忠実にここに立ち、御言葉を宣べ伝える JD 牧師を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインでご覧の方も、参加くださり大変嬉しいです。これは第一礼拝「聖書預言・アップデート」、第二礼拝の「説教」は、ハワイ時間・・・何時だったっけ？ 11時15分だよ？ カポノ、助けて。そんなサッと、どこへ行っちゃったの？ 11時15分からライブ配信します。知っているはずなんですけどね。そ、ハワイ時間11時15分からです。まず賛美が始まって、それから11時45分頃に学びを始めます。その第二礼拝が、節ごとの聖書の学びで、私たちは現在、非常にエキサイティングなことに日曜日の朝は「黙示録」を木曜日の夜は「ダニエル書」を学んでいます。ですから今朝の第二礼拝も、「黙示録」を一節ずつ学んでいきます。そうすることで、『イエスとは誰なのか』というヨハネの幻が、私たち全員にとって、いかに力強い意味を持つかを見ていきます。それが第二礼拝、11時15分からです。オンラインの方、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、今からウェブサイト JDFarag.org へ直接行き、検閲なし、中断なしの、今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。それらのプラットフォームで配信するのは、本編前だけだからです。

本題に入る前に、少なくとも昨夜のイランのイスラエル攻撃に関する最新情報をお伝えしないと大失態になります。今朝、早起きして、何が起きたのか、そして今何が起きているのかを自分自身に確認しました。そして、すぐにでも起こり得ることを。すなわち、イラン、ロシア、トルコ率いる北からの連合軍によるイスラエル侵攻という、有名な「エゼキエル書 38 章」の究極的な預言成就です。そして、彼らはイスラエルを侵略し、イランはその主要国の一つとして挙げられます。今、問われているのは、「これがそうなのか？」

その指摘に全力を尽くします。しかしその前に、何が起きているのか知らない人々のために、次のタイトルのイスラエル向け報道に注目下さい。「イスラエルはイランの大規模攻撃から救われた。」いくつか引用します。

一引用一

「史上初、イランはイスラエルに大規模な直接攻撃を仕掛けた。イランの巡航ミサイル、弾道ミサイル、ドローンが一夜にして 300 発以上イスラエルに向けて発射された。投射された弾丸が長い距離を飛行するのに何時間もかかったため、全国民が防空壕の準備を整え、必要なものをすべて持って身を隠すよう、注意を喚起した。ドローンはイスラエルまで 8 時間かかると聞いていたが、巡航ミサイルなら 2 時間で届く。しかし、はるかに危険な弾道ミサイルはわずか 12 分で到着する。私たちは、イスラエルの守護者、まどろみも眠りもしない神を称える。イスラエル人が一人も殺されなかった。」

主を褒め称えます。私は神がそうしてくださるのが大好きです。

一引用継続一

「その脅威がどれほど深刻なものであったかを考えれば、IDF がどのように対処したかは並大抵のことではない。私たちは軍隊に、私たちが助けてくれた国家にとっても感謝している。米国や英国など、本来の同盟国の中にはイスラエルを支援する国もあった。だが驚いたことに、ヨルダンも（誰が知っていたでしょう？ 神はご存知でした。）サウジアラビアも、（エゼキエル書 38 章 13 節ですね。）イスラエルに向かう大量のミサ

イルの撃墜に貢献した。防衛策を助けるため、(これ→) イラク上空に空域を提供した。」

わお！！ OK。「エゼキエル書 38 章」について簡単に話します。この報道の最後に、これはまだ（キーワード：強調・下線・太字斜体・絵文字でも）まだこの預言が成就していないことを示します。なぜそうなのかを説明します。急いで言わせてもらいますが、まだ成就ではなく、この預言成就の始まりなのは間違いないでしょう。（預言では）どの国からの支援もないのがはっきりと分かる観点から見ると、現在は、支援があるようなので、だから、「まだ（成就でははい）」なのです。しかし、「エゼキエル書 38 章」が成就するとき、、、この預言について何年も話してきましたね。近年、私たちはこの預言成就寸前にいます。それが成就するときは、イスラエルを守るのは友好国ではなく、イスラエルを守るのはイスラエルの神だけです。「エゼキエル書 38 章」の非常に有名な預言から、具体的に 2 つの節を読みたいと思います。16 節、

ーエゼキエル 38 : 16ー

おまえ（ゴグ：この支配者、長、頭）はわたしの民イスラエルを攻めに上り、・・・（それがゴグの最初の間違い。）・・・おまえはわたしの民イスラエルを攻めに上り、地をおおう雲ようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前にわたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。

これが大好きです。あなたがたは、それがわたしであると知る。あなたがたではない。彼らではない。わたし！ は！（強調効果追加）22 節、23 節、「エゼキエル書 38 章」最後の 2 節です。さらによくになります。この「わたしは」に注目して下さい。最近、エゼキエル書を学び終えたばかりですが、この預言書にはこのことが至る所にあります。神が、預言者エゼキエルを通して語っておられます。22 節、

ーエゼキエル 38 : 22ー

わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に（わたしは）豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

唸らないといけませんよ。そう、その直前、預言者エゼキエルは、かつて経験したことのないような今後二度とないような、地震について語っています。それがこの前に起きて、「それから、豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。」それは宣教になりますね。では最後の節、23 節、

ーエゼキエル 38 : 23ー

わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。」

鳥肌でしょ。すべて語られてなされる時、このすべてからすべての塵が落ち着いたら、ダジャレじゃないけど、信じられていることは、議論はあると思いますが、私たちは何年もこの話をしてきました。この侵略に関する特別な預言は、一貫して最初から最後まで、この侵略国家連合は、決定的かつ迅速で壊滅的な敗北に見舞われ、それが 24 時間以内に起こることです。ポイントは何か？ ポイントは、神がなさることを神がなさるといふこと。神がなさったということに疑問の余地はないということ。「わお！ IDF だ！」違います。「おお、米国だ！」違います。「じゃあ、サウジアラビアだ。」違います。「英国？イラクは？彼は打ち解けたの？」違います。一体全体どうして、こんなちっちゃなちっちゃなイスラエルがそんな攻撃から生き残れるのか？ 最近、これらの国々の地図を見ましたか？ ロシア~~~~（再度、強調効果追加）まだ「聖書預言」始めてませんよ。イラン~~~~トルコ。イスラエル。実際、（地図を見る際）拡大しないとけません。ほら、小さな虫眼鏡で拡大すると、画像粒子が粗くなりますけど、イスラエルを見つけるためには、そうしなければなりません。実際、イスラエルが小さすぎてイスラエルという文字が入らない地図もあります。だから、まじめな話、地中海に矢印で引っ張ってイスラエルという文字を書いています。その小さな切れ端、そうここ、ここ。じゃあ、ここをもう少し大きく拡大して、200%ね。あ、あった！「いや、あり得ません。」あり得ます！！「どうやって？」お~良く聞いてくださいましたね。「神がそれをなさいました。神だけが出来るようになる方法で。神は、ご自分の民イスラエルを守るために、神の地に侵入してきた敵に立ち向かわれました。それは神がイスラエルに与えた土地です。これをアラブ人が言ってるんですよ。どうです？

あれは神の土地です。神がその土地の所有権を所有しておられ、登記上の所有者はイスラエルです。しかし、その土地は神のもので、OK。では、聖書預言はここで終わりにしましょう。しないでしょけど。実は、今のは簡単な聖書預言・アップデートで、今から角を曲がって、簡単ではない聖書預言の学びをします。それが「聖書預言・アップデート」です。実際、今が言うのに絶好の機会でしょう。よろしければ、私は回想し、懐かしんで、思い出の道を旅するつもりです。18年前、私はこの「聖書預言・アップデート」を始めました。最初は10分程度の簡単なアップデートでした。は〜！！「10分ですか？」はい、聖書の学びの前にね。それから聖書講解の学びに入りました。で、日曜の朝、2つの礼拝にしました。簡単なアップデートです。ただ、何が起きているのか話して、地政学的に、それが聖典や聖書預言とどうつながっているのか話す、10分ほどの短いアップデートでした。それが18年前でした。そう、ここから先はご存知の通りです。ですから今や、預言・アップデートをしています。そして、これは重要ですけど、「預言の教え・学び」をしています。その区別と線引きをしっかりとしてほしいです。では、なぜか？理由は、今日ほどどちらかという預言の教えです。主から、このことについて本当に話す必要があると感じたからです。何を話す必要があるのか？『聖書預言が苦い感情を引き起こすとき』私たちに何ができるのかについて話し合う必要があります。どういう意味ですか？つまり、具体的には、聖書預言が夫婦や家族、あるいは教会全体の分裂の原因に関わっているという意味です。もっと具体的に言うと、私たちの生活の中で、よく言えば私たちの興奮を分かちあえない、悪く言えば私たちの興奮を非難する人たちに。これが、私が今日成し遂げたいことです。患難前携挙という祝福された希望を待ち望み、孤独を感じている人々に、何らかの形で励ましと希望を与えたいと思います。ラッパが鳴り、まずキリストにある死者、私たちの愛する者たち全員がよみがえり、それから生き残っている私たちが、空中で主と会うために引き上げられ、携挙される時を。(Iテサロニケ 4:16-17)

あなたを励ましたいのです。また、神の御言葉を正しく解き明かし、傷つけられ、馬鹿にされ、嘲笑され、あるいは愛する人から疎外されている人々のために、私たちが今いる終わりの時に、終わりの時ゆえに、健全な教理を提供したいと思います。そこで、この非常に現実的なことを語っている聖句から始めることにします。個人的にはクリスチャンホームで、そして広くキリスト教会で、非常に生々しい現実を目の当たりにしています。「マタイの福音書12章」から始めます。皆さんご覧ください。46節から、今日、私が教えたい箇所への前置きとして、イエスはかなり厳しいことを話されています。ご存知でしたか？イエスが話す力強さには、驚かされ、目を見張るものがありました。この記述も同様です。「マタイの福音書12章46節」、

—マタイ 12:46—

イエスがまだ群衆に話しておられるとき、見よ、イエスの母と兄弟たちがイエスに話をしようとして、外に立っていた。

—マタイ 12:47—

ある人がイエスに「ご覧ください。母上と兄弟方が、お話ししようと外に立っておられます」と言った。

—マタイ 12:48—

イエスはそう言っている人に答えて、「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか」と言われた。

私がママなら言います。「こっちへおいで坊や。誰がママなの？誰がママなのか教えてあげるわ。」私には、これはまさに驚くべきことでした。「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか。」私なら、イエスにそれを伝える役目を担う男にはなりたくなかったでしょう。「すみません。お邪魔してすみませんが、あなたのお母さんとお兄さんたちが、今すぐ話したいことがあるそうです。何の話かわかりません。」

イエスはその人に仰います。「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか。」その時点で、私がお母さんや兄弟方だったら、「はい！気にしないでください。大丈夫です。」お母さんや兄弟方のところに戻って、こう言います。「今ちょっと都合が悪いようで、二度と私にあんなことを頼まないでください。」

で、49節、

—マタイ 12：49—

それから、イエスは弟子たちの方に手を伸ばして（この可哀想な男に）言われた。（皆さんの心の目で想像してみてください。）「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。

—マタイ 12：50—

だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

わお！！ OK。私はこの特定の箇所について主に尋ね、私は主に尋ねながらちょっと疑問に思いました。ちょっと待って。私の知る限り、福音書の中で、イエスが群衆に教えておられるとき、このように中断された唯一の記録です。ですから、イエスの母と兄弟たちが、イエスに話をしようと、この大勢の人々の教えの最中に中断させたのには理由があったはず。その理由とは？ イエスの教えを何度も聞いてきたであろう母親や兄弟たちが、このレベルに達するのはなぜか？ しかし、なぜこのタイミングでイエスの話を遮り、イエスと話をしようと誰かを送り込んだのか？ その答えは、言いますよ。その理由は、彼らはイエスを押し止め、トーンダウンさせ、柔らかくさせることを望んだ。なぜか？ イエスが論争を巻き起こしているという報道が数多くあったから。それが理由です。おお、それなら納得がいきます。ある解説者の発言が好きです。

—引用—

「イエスに反対する一般的な文脈を考慮すると、イエスの家族は、宣教中あまり論議的にならないように、イエスに訴えたかったのかもしれない。」チャールズ・スポルジョンは、とても的確に表現しています。

—引用—

「家族がイエスを連れに来たのは、イエスが自分のそばにいないと思ったからだ。それは古い英語の言いまわしで、“彼は道を踏み外している。”・・・どんな比喻を使っても構いません。それで十分でないなら、

「イエスは見失っている。彼は正気を失っている。彼は自分を見失っている。これは緊急だよ。これは深刻だよ、ママ、兄さん、行こう。イエスを連れに行こう。連れに行かないと。彼は論争を引き起こしすぎている。・・・パリサイ人たちは、イエスが宣教を親類に見せびらかしたので、イエスを抑制したほうがいいと考える筈。」

それで納得できますか？ 本当にぴったりでしょ？ それで説明がつきます。つまり、それ以外の理由では、なぜ彼らがこんなことをするのか、なぜそこまでするのか、説明がつきません。物流面だけでも想像してみてください。群衆ですよ。何千人がそこにいたのか？ 彼らはどうやってその男にイエスへの伝言を伝えたのか？ 「あの～、お母さんとお兄さんたちが今すぐあなたと話す必要があるそうです。」「今ですか？ 待てないのですか？」「待てません。彼らはあなたを自分自身から救おうとしておられます。あなたが理性を失っているから。」「マタイの福音書10章」、34節から、イエスが話しておられます。

—マタイ 10：34—

わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っははいけません。わたしは、平和ではなく剣をもたらすために来ました。

—マタイ 10：35—

わたしは、人をその父に、娘をその母に、嫁をその姑に逆らわせるために来たのです。

—マタイ 10：36—

そのようにして家の者たちがその人の敵となるのです。

—マタイ 10：37—

わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

—マタイ 10：38—

自分の十字架を負ってわたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

—マタイ 10：39—

自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得るのです。

「ルカの福音書 14 章」、25 節から、

—ルカ 14：25—

さて、大勢の群衆がイエスと一緒に歩いていたが、イエスは振り向いて彼らに言われた。

—ルカ 14：26—

「わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分のいのちまでも憎まないなら、わたしの弟子になることはできません。

—ルカ 14：27—

自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。

待って、何て？ 憎む？ 愛はどこ？ これは、愛である神で、愛の神で、私が他のみんなを憎まなければ、イエスの弟子になる資格はないと仰っている。何を仰っているのか？ では、「マタイの福音書 6 章」24 節が、別の文脈で空白を埋めてくれます。

—マタイ 6：24—

だれも二人の主人に仕えることはできません。・・・

あなたは、彼らについて行きながら、わたしに従うことはできません。あなたがまだ誰かに執着し献身しているのなら、わたしを愛し、わたしに献身はできません。イエスが仰ってることに留意ください。「あなたにはできません。」すべきではない、ではありません。できないのです。不可能なのです。どちらか一方なのです。

・・・一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。・・・

ここがお金に関する文脈です。

・・・あなたがたは神と富とに仕えることはできません。

これは人間にも当てはまります。あなたの愛情と献身の対象は誰ですか、何ですか？ その対象は、イエスだけの場所であるあなたの人生の中心を、イエスの本来の場所であるあなたの人生の王座を、手に入れましたか？ なぜなら、そうその選択は私たちにあるから。その引く手は強いのです。あなたは彼らを愛しているから。しかし、イエスがペテロに尋ねられたように、「あなたは、わたしを愛する以上に、これらを愛しますか？」(ヨハネ 21：15 参照)

イエスが仰っているのは、イエスに献身し、忠誠を誓うには、それに対抗するすべての人、すべてのものを捨てなければならないということです。自分に対抗する家族がいて、あなたはどうしますか？ あなたは屈服し、身を竦め、怯えますか？ そうすることで、あなたがするのは、..、あなたは彼らを愛しているから。そうすると、イエスへの愛と献身と忠誠を犠牲にすることになります。ええ、そんなことは決して言いませんが、それが私たちの意味です。あなたの人生で、イエス・キリストという人物より、何ものかが、あるいは誰かが、より重要になるのを、偶像崇拜と言います。木曜日に見たように、ネブカドネツアルは、ダニエルが夢の内容を告げ、その夢を解釈した後ダニエルの前にひれ伏しました。つまり、既知の世界で最もパワ

フルな男です。こんなことは考えられません。彼はダニエルの前にひれ伏し、認めます。「あなたの神は神々の神だ。」そう、最初は「わあ、かっこいい」と思います。間違いです！！ 主は神々の中の神ではない。主が神です。以上！！ 他の神々を置かないでください。「おお、ダニエルよ、あなたの神は、神々のリストのトップに立った。」じゃあ、主の前に他の神々がいるのですか？ それじゃあ、他のすべての神々は主と競い合っているのですか？ お～、主はかなり高い評価を受けているんだね。今週は、5つ星ですね。だから今、少なくとも今のところ、その神が神々のトップだ。我々には、あちらの他の神々もいるから。いいえ。神か、そうでないかです。主が、あなたの主人か、そうでないかです。神があなたの主人でないなら、誰か、あるいは何かがあるあなたの主人です。あなたは自分の人生で、あのことやあの人の太鼓の鼓動に合わせて踊っている。そして、それはイエスへの献身を犠牲にすることになります。「第二テモテへの手紙3章」に注目して下さい。1節から5節を読みます。よくこの箇所を話すのは分かっています。事実、先週これについて話しましたから。でも今日、私たちが話しているこの件に関して、ここにはある意味最も適切な何かがあると思うのです。パウロは若い牧師のテモテに手紙を書いています。彼は基本的にテモテの指導者で、信仰の父でもありました。テモテはパウロの愛弟子でしたが、まだ若く、この教会を牧会していました。そして、パウロは聖霊の靈感を受けて、テモテに手紙を書いて、言います。「テモテよ、これが終わりの日の特徴づけます。」

一II テモテ 3：1一

終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

(翻訳によっては、危険な時代)

そして、パウロはこうリストを続けて語ります。その危険な時を象徴する19の特徴を。「テモテよ、これがその時の様子です。これが世の中の様子で、これが特徴です。」これを簡単に読む前に、すべきことは、理解することが重要なのは、パウロが聖霊に導かれて書いたのは、世についてではなく、クリスチャンについてです。それが世のことなら、なぜ彼は危険だと言いますか？ 世であれば当然です。いいえ、パウロは終わりの時のクリスチャン、教会についてを話しているのです。その特徴がこのリストです。だから非常に危険なのです。ではそのリストです。

一II テモテ 3：2一

そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

一II テモテ 3：3一

また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、

一II テモテ 3：4一

人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、・・・

(私はこれに下線を引きたいです↑) いきりたって、自己中心的で、自分をそれ以上に高く評価する。

・・・神よりも快楽を愛する者になり、

一II テモテ 3：5一

見かけは敬虔であつても、敬虔の力を否定する者になります。こういう人たちを避けなさい。

「第二ペテロの手紙3章」、3節と4節。そのあと、この章のもう2、3節を見ます。皆さん良くご存知でしょうけど、私が話したいことを理解する上で重要です。

一II ペテロ 3：3一

まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの欲望に従いながら、

—II ペテロ 3 : 4—

こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

8 節と 9 節、ペテロは続けてこう語ります。

—II ペテロ 3 : 8—

しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

—II ペテロ 3 : 9—

主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

そして最後に、「第一ペテロへの手紙 3 章 15 節」、

—I ペテロ 3 : 15—

むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしいなさい。

—I ペテロ 3 : 16a—

ただし、柔和な心で、恐れつつ（敬意を持って）、健全な良心をもって弁明しなさい。

では、お許しいただけるなら、これらの力強い聖句と預言を、目の前の問題にあてはめてみたいと思います。すなわち家庭であれ、職場であれ、身近な人たち、あるいは、キリストにある兄弟姉妹からでさえ、反対に直面したとき、私たちに何ができるのか。それで私は、5 つに絞りました。それだけでも励みになると思います。まだまだたくさんあるけど。しかし、それを 5 つに省略しました。この点でよく聞かれる 5 つの質問。私は聖書的な答えを提供し、それがあなたにとって何らかの助けになり、励みになることを願います。

質問 1) : これからの人生があるゆえに、患難前携挙に盛り上がらない若者に対して、あなたは何と答えますか？

公平に見て、これは理解できますが、その若者は多くの思い込みをしています。そのすべてが、携挙は、長く充実した人生を逃すことを意味する、という考えに基づいているからです。これには 2 つ以上の問題があって、1 つ目は、自分の人生は痛みや苦しみに満ちたものではないと思い込んでいること。特に終わりの日の危険な時代に。ご存知だと良いのですが。私がよく言うのが、それを言うと飽き飽きしないでほしいですけど、言いますと、「あなたはまだ何も分かっていない。」そう、これは終わりの時の始まりです。どんどんさらに悪化していきます。あなたは今これが酷いと思っているの？ これが、その前提の 2 つ目の問題で、また彼らは思い込んでいるのは、人類史のこの時期、人類史のこの時点で、長く充実した人生を送る時間が、人類史にはまだ残されていると。もっと詳しく説明したほうがいいかもしれません。あえて言うとなれば、もっといい言い方があるかもしれませんが、少なくとも私は「賭けてもいい！」とは言いませんでしたから。あえて言うならば、この方がましでしょ。自分でリサーチしてください。私が話しているのは、ええ、キリスト教の情報源からそれを見つけるのは難しいでしょうけど、悲しいことに、これはクリスチャンの牧師や教師、指導者に対する非難です。この情報は、ノンクリスチャンのところにいかねばわかりません。しかし、実際に何が起きているのか、あえて見ようとするならば、あなたは驚愕します。そう、驚愕です。たった一つだけでも、今、何が起きているのか。今、マタイの福音書 24 章 22 節で、イエスが仰ったように、神がご介入され、その日数を少なくされないなら、そうされなければ、肉にある人間は一人も生き残れないでしょう。外に出て、車に付いた膜を見て下さい。3 月や 4 月の花火のせいではありません。今何

月？4月？ そう、4月ですね。花粉ではありません。「そうそう、でも僕は海の近くに住んでいるから。」
そうですか。しかし、これは奇妙な色をしています。皆さん、今のペースでの人類、人間への邪悪な悪魔の
攻撃からすれば、本当に繰り返しますが、あと10年あるとは考え難いです。では、その若者への質問に戻り
ます。締めくくりにもっと話しますが、25歳の若者からの驚く証があります。あなたの思い込みは現実
に基づかない仮定の話です。以下は、別の思い込みです。私が言うところの「携挙後の失望」という誤解で
す。それは何か？ 永遠の命の中で、人々は現世で何があり得たかを考えるだろうという思い込み。神の御
言葉の権威に基づき、私は断言します。そんなことは起こりません。ええ、そうでしょ。考えてみてくださ
い。ラッパが鳴って、わお！となるのに、携挙後、誰も、、、なりません。

「おや、JD、ここに来たら、君は神に質問があると言っていたと思うけど？」「ご心配なく。」私はこうなり
ます。「お～～！！ふさわしい、屠られた子羊～～！！」（黙示録5章参照）会衆：拍手喝采！！

ヨハネはこう言っています。私たちは肉的な人間を知ることはなく、聖書的な答えとして、実に適切です。

「天国でお互いがわかるの？」ある牧師が答えたのが気に入りました。私の発言ではありませんから、メー
ルしないでね。「あなたは天国で、ここより愚かになることはない。」私は引用しています。私が言ったので
はありませんからね。いいえ、私たちは、肉によって彼らや自分達が天で誰なのかを知るのではありません
。第二礼拝の黙示録の学びの結びで、このことについて実際に話す予定です。しかし、私は神の御言葉の
権威に基づき、永遠でこんなことを言う人はいないと断言します。

「お～やれやれ、私が結婚するまで待っていてほしかった。」いいえ、そうはなりません。大げさで愚かな表
現だとは思いますが、要点はわかっただけでしょう。

質問2)：患難前携挙へのあなたの興奮に同意しない、あるいはもっと悪いことに敵対的さえある夫や妻
に、あなたは何と言うか？ 彼らはそれを聞きたがらない。言うな。まあ、何よりもまず、それに驚いては
いけません。このこと自体が、前述の聖句で見たように、預言的なしるしです。特に、ペテロが、このこと
もまた終わりの日のしるしだと書いています。つまり、このあざけりと嘲笑と敵意は、今後も増え続けるで
しょうし、使徒ペテロだけでなく、使徒パウロでさえこのことについて書いています。彼らは、そういう人
たちに非常に優しく敬意を払い、口論をしないという言い方で表現しています。これはとても重要です。私
は、議論によって誰かを真理や王国へ導いたことはありません。皆さんは、ありますか？ 福音を分かち合
っていると、ちょっと熱くなって、その、なんというか、私が何を言っているか分かるでしょ。あれを言葉
にしなくてもね。なんというか、ちょっとその、

「じゃあ、お前はどうかだ！！」でも、その渦中にいる誰からも、こうは言われたことはありません。「あ
なたは正しい、私は間違っている。救われるためにはどうすればいいの？」あります？ いえ、その代わり
に起こることは、議論には勝っても、その人をキリストに導く機会を失う。それが世界中で毎日、1日に何
千回、何百万回とソーシャルメディア上で起きています。「ああ、君の投稿か。君は非常に正しいさ。君が正
しい。彼らは間違っている。」そして、あなたは彼らを誹謗中傷させます。待って、どうやって彼らをキリ
ストに導くつもりなの？ あなたは導いていない。あなたは議論には勝つでしょうけど、そう、ソーシヤル
メディア、彼らがそれを何と呼ぼうとね。そういう言葉があるのかどうかは知りませんが、あるはず。地獄
(Hell)のようにHで始まるはず。議論には勝てたかもしれませんが、そのチャンスは失った。あなたが彼
らをキリストに導くことは決してない。彼らはあなたの敵ではありません。宣教対象です。彼らは敵ではな
く、チャンスです。

「ああ、でも彼らはあれやこれやを信じているんです。」

では、キリストのもとに来る前、あなたは何を信じていましたか？ パウロがコリントの信徒に言うよう
に、「あなた方も以前はそのような者でした。」(Iコリント 6:11)

何て？ そう、同性愛者でした。え、何て？キリストのもとに来る前、あなたはそんな人だったの？ メッ
セージに戻った方がいいね。まだ2、3残っているからね。もうひとつ付け加えたいことがあります。これ
について考えて欲しいのです。あなたが本物かどうか、実際、見られているのかもしれませんが。ちなみに、
彼らはあなたが本物であってほしいのです。なぜなら、彼らはあなたの人生に私の人生に、2つの質問をし

ています。あなたは本物なのか、そしてうまくいくのか？ そして、彼らはあなたが本物で、うまくいくことを望んでいます。なぜなら、あなたが本物で、これがうまくいくなら、彼らにも希望があるからです。逆に、そうでなければ彼らに希望はありません。彼らはあなたにある希望が欲しいのです。だからペテロは言うのです。

「あなたがたの希望について尋ねられる準備をしなさい。」(1ペテロ 3:15)

たぶん誰もあなたに希望について尋ねない理由は、どうして答えのない人に何かを聞きますか？ 私は気をつけないとはいけません。まず私自身に罪が示されています。最後に誰かにこう言われたのはいつですか？

「あなたは他の人と違う。あなたはどうなっているの？」あなたは、世界で起こっているのを見て、盛り上がり、希望を持っている。他の誰もが震え上がっているのに。あなたはチェックアウトの準備をしている。(はっはっは!) どうしたんですか？」おお、よくぞ聞いてくれました。なぜ私がそのような希望を抱いているのか、その理由を説明しましょう。その人の名は、イエス。しかし、あなたの中に希望を見いだせないのに、なぜあなたに尋ねますか？ ここで置いておきます。私は今、さらに罪を示されましたから。

質問3)：家族、友人、同僚、あるいはクリスチャン仲間でも、あなたを陰謀論者の一人に過ぎないと非難する人に、何と言うか？ 彼らはアルミホイルのキャップを被った男が描かれたミームを送ってくる。ミーム(meme)は、意地悪(mean)です。ええ、ミームは、意地悪です。そうなり得ます。よろしい、それで？

あなたはどうするのか？ まずは、私の世界へようこそ。これには霊的な識別力が必要です。相手が答えを求めているのか、それとも議論を求めているのかを見極めながら、非常に注意深く、祈りにおいてアプローチする。いいですか？ もし彼らが議論だけを求めているなら、反論の余地のない、事実無根の証拠にも拘らず、あなたは彼らを決して満足させられません。時間を無駄にしてはいけません。逆に、相手が純粋に答えを欲しがっているかどうかあなたは霊的に見極められますから、準備し、備え、神の御言葉を正しく理解し、自分にある希望について聖書から答えを与えられるように、御言葉のどこに行けばよいかを知る。そうすれば、答えを与えられなくなって、恥じたり、恥ずかしがったりすることはない。ある男がいて、彼は救われ、今、主とともに歩んでいます。何年も何年も前、90年代のことで、私はいつも運転席のドアのポケットに聖書を入れていました。そして彼は、私が持っている希望についての的確な質問をし始めました。もちろん、私は彼をキリストに導こうとしています。それで彼は私に質問し始め、私は彼に答えていると、彼は言います。「いや、聖書で示してほしい。」私は思いました。わお、神に感謝します。聖書のどこに行けばいいのか知っていたから。ほら、付箋を使ったって、そのことを全部知っているんなら、大丈夫。私は傍に車を止めて、聖書を引っ張り出しました。私は彼らと一緒に聖句を読み、彼らに答えを与えました。

質問4)：これで終わりだと信じていることについて、あなたを非難する人に何と言うか？

これが終わり。あなたは本当にこう信じているから、狂っていると思われる。

「これが終わりだぜ！私たちが最後の世代。」それで、次世代についての話題や会話が出るたび、あなたは言う。「違う違う！！」「私たちは次の世代にどんな世界を残すのか？」そんなんあるかいな。私たちは最後の世代なのだから。

質問1)を見てごらんよ。オーケー、真面目な話。いい質問です。フェアな質問です。公平を期すために、この質問は、長年にわたって大きなダメージを与えてきた、いわゆる多くの日付設定者とセットです。しかしありがたいことに、聖霊の靈感を受けたペテロは、この問題に備える最善の聖書的方法を私たちに教えてくれています。再度、

「柔和なところで、敬意を持って。神の御言葉の中で、終わりの時に世がどのような様子になるかを示す箇所を教えてください。」「第二テモテへの手紙3章」に行き、「マタイの福音書24章」に行き、神の御言葉の実用的知識を使ってください。敵に「黙示録」であなたを怯えさせてはいけません。「黙示録」を使うことができます。質問、、、私は先走ってますけど、非常に適切です。私自身、とても参考になりました。それに対して彼らに質問を投げかける。イエスがなさったように。誰かに質問をするとき、あなたは実際に相手に考えさせるように、、、なんて斬新なアイデアでしょう。彼らは考えねばならなくなるから。自由形式の

質問で、複数の選択肢を与えてはいけません。自由形式の質問。福音書を通して、イエスがされているのが分かりますね。彼らに質問しておられます。実際、私はイエスがそうなさるのが大好きです。イエスは彼らの質問に質問で答える。

「あなたの弟子たちは、カエサルに税金を納めるべきではないと言っていた。」

それで、、いやいや、それをやる時間はありませんけど、でも、私はその場にいたかった。彼らを黙らせられます。だからといって、彼らを拒絶することが目的というわけではられません。そうじゃなく、私たちは彼らをキリストへ勝ち取らなければならないのです。でも、聖書は、終わりの時に世はこうなると教え、そして、彼らの理性に訴え、こう尋ねる。

「今の世界は、聖書が語る終わりの時の世界の姿に見えませんか？」

お～なんてこと。冗談でしょう？ 今イスラエルで起きたことを彼らに見てもらえばいい。「エゼキエル38章」に彼らを連れて行ってください。それを楽しんで。凍結された選ばれし者になるのは止めて下さい。あなたがキリストのもとに来たとき、キリストはあなたの個性やユーモアのセンスを抹消するよう要請しておられませんよ。「私はクリスチャンなのだ!!」いえ、神は、、そんなじゃありません。神はあなたにその個性を与えられました。クリスチャンの中には退屈な性格の人がいます。楽しんでください。

「ねえ、イスラエルで起こったことを聞いた?」「聞いたよ。」「それがこの箇所よ。これがその報道で、ここ、一字一句同じ。終わりの時の。」そして、何が起こるかだけでなく、その理由も語られています。

「そうすれば彼らは、わたしが彼らの神、主であることを知るようになる。わたしの他に神はいない。」

では、最後の質問5)に、簡潔に指摘するための共に過ごす残りの時間を使いたいと思います。この特別な質問の性質上、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。もうウェブサイトで見られますように。

一本編一

前置きとして、どうか理解ください。私は決して愛がないと思われたいわけではなく、むしろ、愛のうちに、愛のゆえに、愛に満ちた真実を語りたいたいのです。だって、気にかけてないなら気にしないのでは？

誰かを十分に愛しているのであれば、例えそれが相手を傷つけるかもしれないとしても、真実を伝えようとするはず。愛する者(友)が傷つけるのは誠実による。(だから信頼できるが)憎む者は多くの口づけでもてなす。(あなたが聞きたいことだけを言う。)(箴言 27:6)

ですから、これが愛が故の真実です。

質問5): クリスチャンであろうとなかろうと、こんにち世界で起こっている事実上の全てに惑わされている人に、あなたは何と言うか？

私が、全てにと言う意味は、"コロナといわゆるワクチンから、今回の選挙とその間にあるすべての欺瞞まで。"騙されていて、彼らはそれが分からない。あなたは どうする? そのような人に何と言う? それを限りなく複雑にし、心が痛むのは、相手がキリストにある兄弟姉妹だからです。彼らはとても騙されています。それでどうするのか? 分かりません。祈りで締めくくみましょう。ご辛抱ください。広い意味だけでなく、むしろ個人的な意味で話したいと思います。具体的に、この欺瞞が、あなたがよく知っている人、本当に気にかけて、本当に深く愛している人に、苦い感情を引き起こすときです。

それで、答えは? はい、単純化しすぎかもしれませんが、あなたは彼らに忍耐強く接し、彼らを愛し、そして何よりも彼らのために祈ることから始めることができます。なぜか? 真実は、人を真理に導くのは聖霊だけだから。そして、私を含め、私たちは皆、聖霊にさせていただく余地を与えるのがよいでしょう。また、これは個人的に非常に役立っていることで、主があなた以上に、彼らに聞く耳を持たせることを望んでおられるのを知り、主に安住して信頼し、主を待ち望む。道を踏み外した娘、放蕩息子の両親について考えます。あなたにとって大きな励みとなるのは、神があなた以上に彼らが戻ってくるのを望んでおられるこ

と。そしてもうひとつ、神はあなた以上に彼らを愛しておられます。それがあなたの心を落ち着かせるはずで。そう、欺かれている人たちも同じです。主は彼らが惑わされないことを望んでおられます。聖書預言がすべてリストのトップにそれがあるのはなぜだと思いますか？

「惑わされないようにしなさい。」実際には、もっと具体的な話で、

「人に惑わされないように気をつけなさい。」(マタイ 24:4)

その箇所のキーワードが分かりますか？「惑わされてはいけない。」その推論は私たちは人に惑わされ、人に惑わされた者は人を惑わす。もう一度言います。もう締めくくりますから。惑わされた人は人を惑わす。彼らに惑わされてはいけません。彼らは惑わされたのです。彼らにあなたが惑わされてはいけません。

「人に惑わされないように気をつけなさい。」分かりました。では主に信頼を置き、主を待ち望む。それは、私が何もせずただ傍観しているということなのか？ とんでもありません。私たちは、イエスを人々に、人々をイエスに届けるために、あらゆることをし、止めることなど何もない。私たちの人生に対する神の召し、手に鋏をかけ続けなければならない。あらゆる機会を捉える。まだ時間があるうちに。これに関しては、もっと手立てがあるかもしれませんが、私を含め、私たち全員がこのことを考えることが最も重要です。一緒によく考えてみてほしいのです。もしかしたら、あなたは、あなたの人生で特定の愛する人のために神が選び、用いる器でないのかもしれませんが。

「牧師さん、どういう意味ですか？」ええ、神は、彼らが受け入れる人として、感情的に深くかかわらないあなたの代わりに別の人を選び、用いられるのかもしれませんが。個人的に受け取らないでください。「マルコの福音書6章」、1節から、皆さん、この聖句をご存知ですね。

ーマルコ 6:1ー

イエスはそこを去って郷里(ナザレ)に行かれた。弟子たちもついて行った。

ーマルコ 6:2ー

安息日になって、イエスは会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は驚いて言った。「この人は、こういうことをどこから得たのだろう。この人に与えられた知恵や、その手で行われるこのような力あるわざは、いったい何なのだろう。」

ーマルコ 6:3ー

この人は大工ではないか。マリアの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄ではないか。その妹たちも、ここで私たちと一緒にいるではないか。」・・・

彼がオムツをしていたときのことを覚えている。原文にはありません。それははっきり言っておきます。

・・・こうして彼らはイエスにつまずいた。イエスは彼らに言われた。

注意して聞いてください。

ーマルコ 6:4ー

イエスは彼らに言われた。「預言者が敬われないのは、自分の郷里、親族、家族の間だけです。」

ーマルコ 6:5ー

それで、何人かの病人に手を置いて癒やされたほかは、そこでは、何も力あるわざを行うことができなかった。

ーマルコ 6:6ー

イエスは彼らの不信仰に驚かれた。それからイエスは、近くの村々を巡って教えられた。

ポイントは何か？ ポイントは、もしかしたら、あなたは感情に影響しすぎるのかも。そしてあなたはその器ではない。繰り返しますが、それを悪く取らないでほしいのです。個人的に取らないでください。神はもたらされるのは、実際、そうあるべきで、私は長年にわたってそうでしたが、私の神に捧げた祈りは、

「私は彼らの人生の器ではありません。彼らはそうはっきり言いました。」彼らはすべてのソーシャルメディアで私をブロックしました。「私はその男ではありません。彼らに、そういう人を送ってください。彼らが受け取る器として、彼らの人生に誰かを送ってください。」

もうひとつ、今日はこれだけ言っておきます。そのため、私はまだ祈り、考え、リサーチし、そして主の御心なら、早ければ来週にも話すつもりでいるのは、私が言っているのは、注射を打った人の性格が奇妙に突然変わること。たとえ1回であっても、複数回であっても。私はこれに取り組んでいて、先週も少し触れたと思いますけど、あなたは自分の方がおかしいと考えますが、いいえ、違います。そして、神経学者や科学者による神経学的証拠を理解すると、、、私はその情報や文書を持っていて、すると突然、すべてが変わります。それはあらゆる意味で一変するというか、それで説明がつかず。血液脳関門を破られている。さて、よく考えてほしいのです。それから締めくくりますので。マインド（思考）が人間を作ります。マインドこそが人間を作ります。ですから、サタンが人類を変えようとするなら、そのために人間の脳に到達せねばなりません。私たちがその学びに入るとき、、、もしも、です。「黙示録」でその箇所には到達するとすれば、患難時代の預言で、人々は死にたいのに死ねない。（黙示録 9：6参照）

彼らはゾンビになる。なぜ彼らが死ねないかわかりますか？ 脳に入り込んで、それを維持しているからです。誰かが死んでいて、脳は死んでいてもでも体はまだ機械で動いている。やりすぎでした？ こんな終わり方で申し訳ないですけど、来週のためにお祈りください。主の示しがない限り、この方向が私たちの進むべき方向だと感じているからです。突然の変化とその行動。非常に奇妙です。

で、それに対する神経学的な説明があります。血液脳関門を破るのがスパイクタンパク質です。だから、人々はあのような行動をとるのです。彼らが思考を支配し、考えをコントロールできれば、そうすれば、人々は協力的で、従順になる。そして突然、人間を人間らしくする感情が消えてしまう。皆さん、気づいているかどうかわかりませんが、これを最後に締めくくりにしますが、でも、皆さん知っているかどうか知りませんが、私が外出するとき、それはほとんどないけど、今は特に、胸が張り裂けそうです。人々を見ると、まるで歩くゾンビのようだから。彼らはもう笑顔がなく、別人です。そう、私は、、、私は会話を始めたのに、「へ〜い！！」彼らは下を向いて、去ってしまう。「あの人おかしい。」って。いや本当は、あなたがおかしいんですよ。何があったのですか？ 清算する際に、彼らはロボットのようにストイックなだけで、その流れに乗るだけ。何があなたに起こったの？ あなたに何が起こったのか、わかった気がします。「まだ希望はありますか？」まぢがいなくあります。彼らはあなたの脳にダメージを与えた。彼らはあなたのDNAにダメージを与えた。だから多くの人が急死しています。でも、彼らが人間のDNAを変革し、トランスヒューマンを作る患難時代前にまだ希望はあります。

OK。じゃあ、最後にシンプルにこう言います。今、かつてないほど聖書預言が身近で心に深く影響し、これ以上無視することはできません。ですから福音、良い知らせ、子供にでも分かる救いの説明「救いのABC」で締めくくるのです。神があなたに、イエスを誰かと分かち合う深い特権と機会を与えてくださったら、これが救われる方法です。唯一の方法ではありません。一つの方法です。

A：自分は罪びとで、救い主が必要だと Admit/認める。

ローマ人への手紙3章10節、

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

あなたは良い人かもしれませんが、（神の御目からは）十分良くはありません。

ローマ人への手紙3章23節がその理由、

「すべての人（私たち誰しも）は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは皆、罪びととして生まれました。ですから、イエスが仰った通り、天の御国に入るためには

生まれ変わらなければならないのです。「ローマ人への手紙6章23節」は、まず悪い知らせが来て、それから良い知らせです。悪い知らせとは？ ええ、罪に罰則があるのです。罰則は死刑宣告です。

「罪の報酬は死です。」(ローマ6:23a)

しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物(贈り物)は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」(ローマ6:23b)

イエスは全額支払って、あなたを買い戻されました。あなたは自分のものではなく、イエスがすべてを懸けて代価を支払い買い取られたのです。イエスが支払った永遠のいのちという贈り物を、あなたに差し出してくださっています。それがAです。次にB、大変中心です。

B : Believe/信じる。

ただ「ええ、神を信じてますよ〜。」ではありません。いいえ、これはイエス・キリストが主であると心の中で信じて信頼を置くことです。イエスが、御父(神)への唯一の道です。イエスが道で、真理で、いのちなのです。(ヨハネ 14:6)

ローマ人への手紙10章9節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「ヨハネの福音書3章16節」は、聖書の中で最も有名な聖句です。その核となるのは、

「御子(イエス)を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

最後に、心に満ちていることを口が話すのです。(マタイ 12:34)

それがCです。C : 主の御名を Call/呼び求める。

あなたの口で、イエスが主だと Confess/告白する。そう、私の心にイエスがいるなら、私の心でイエスが主だと信じるなら、それが私の口から出てきます。

ローマ人への手紙10章13節、

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

決定事項です。完了した。(ヨハネ 19:30)

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

以上、ピリオド。コンマで続きはなし。嬉しくないですか？ イエスが「完了した。」という言葉

最後に仰ったことが。イエスは、「完了した。しかし、、、」とは「完了した。もし____するなら、、、」とは仰っていません。「わたしは自分の役割を果たしたので、次はあなたの番です。」とは。それなら恵みではなく行いです。

「私たちは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。行いによるものではありません。それが、神の賜物です。誰も誇る事が無いように。」(エペソ 2:8-9)

私は信仰によって、恵みのゆえに救われました。それでは、今日の「しかし、神は。」の証で締めくくります。実際メールをいただいて、分かち合うのを決めました。エズラリーアンさんからです。そして、とても勇気づけられます。私がそうであったように、皆さんも勇気づけられると期待します。彼女は25歳です。私の長男と同じ年です。彼女からのメールを読みます。

「私のパパは、あなたの聖書預言・アップデートと説教を見るのが大好きです。(私もあなたが大好きですよ、パパ。)彼は2020年以來、あなたを見てきました。私たちはカナダ在住です。私は25歳の女性です。」

昨夜（3月25日）、父があなたの最近の説教について話してくれました。彼はとても励まされました。あなたは、若い人たちは携挙について興奮していないと言いましたね。それで私は考えました。（25歳です。）だから私はそれについて投稿しました。今夜、父に読んで聞かせたら、あなたにも聞かせてあげなさいと言われてました。私はこのことについて祈り、あなたに分ち合うよう導かれたのです。私の家族を励ましてくれてありがとうございます。どうぞ続けてください。以下が私の投稿です。

『天国で私には誰がいるでしょうか？ あなたです。地には、あなたのほかに私が望むものは何もありません。（詩篇73篇25節と26節ですね。）』

この一節が今日も私の心の中で繰り返されている。私はこの一節のシンプルだけど、深い側面について考え続けている。とても力強い。（25歳ですよ。）（彼女の投稿の続きです。）父が今夜言った。どうやってお前は説教を聞いたのだ？（JD 挙手）若い人たちは携挙やイエスの来臨を待ち望んでいないようだ。彼らは自分の人生を生き、永遠に行く前にここですべてのことをやり遂げたいのだと。彼らは、あの仕事が欲しい。あの家が欲しい。あの学位が欲しい。結婚という関係が欲しい。友情が欲しい。旅行の経験が欲しい。子供がほしい。銀行口座の残高が欲しい。名声が欲しい。彼らは成功が欲しい。（なんという投稿でしょうか。）彼らが最も望んでいることが何であれ、それを経験する前にイエスが戻って来られることを望んでいない。彼が話していた時、私はこの聖句を思い浮かべた。

「地には、あなたのほかに望むものは何もありません。」（詩篇73）

私はずっと結婚したいと思っていた。それが私が世界で一番欲しかったものだ。しかし、私が最も望んでいることが良いものであっても、イエスがどなたであるか、そしてイエスと永遠に共にあることとは比べものにならない。・・・25歳ですよ。彼女の投稿です。・・・あなたが望むもの、欲するものをイエスに委ねるように祈ります。あなたがこの世で最も欲しているものよりも、イエスの方がはるかに魅力的であることを、イエスに示してもらおうのだ。イエスは本当に最高の宝だ。あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もある。（マタイ6：21）

あなたの宝はどこにあるの？ あなたの心は何を一番望んでいるの？ イエスでないのなら、自己評価と自己査定を行う必要がある。聖霊に、自分の心の本当の状態を示してもらおう。永遠は二の次ではない。最高の栄誉だ。決して、私はそれを決して忘れない。あなたに祝福を。エズラリーより。」

わお！！！！ これどうです？ カポノ、上がってきて下さい。皆さんご起立ください。

ふ～！！うわ、、エズラリー、これをありがとう。パパ、エズラリーをありがとう。すごい！！！！

主よ、ありがとうございます。それが真実ですあなたのようなお方が他にいらっしゃるでしょうか。

（出エジプト 15：11）

私たちがあなたよりも大切にしているのは誰なのか、何なのか。この人生で、私たちがあなたの代わりにしがみついているものは何なのか。おお、主よ。あなたはいつもとてもお優しく、あなたがなさる方法も。でもこの世とこの世のものに対する私たちの執着を緩めてくださいますように。誰も一緒でなくても、私たちはあなたに従います。私たちは自分の十字架を背負い、自分自身を否定し、自分自身（の欲）に死に、あなたに従います。主よ、ありがとうございます。今あなたがこれを取り上げ、ここからは聖霊よ、お願いします。この説教壇に立って教え、説教する特権も与えてくださり感謝します。イエスよ、私たちはあなたを大変愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7